

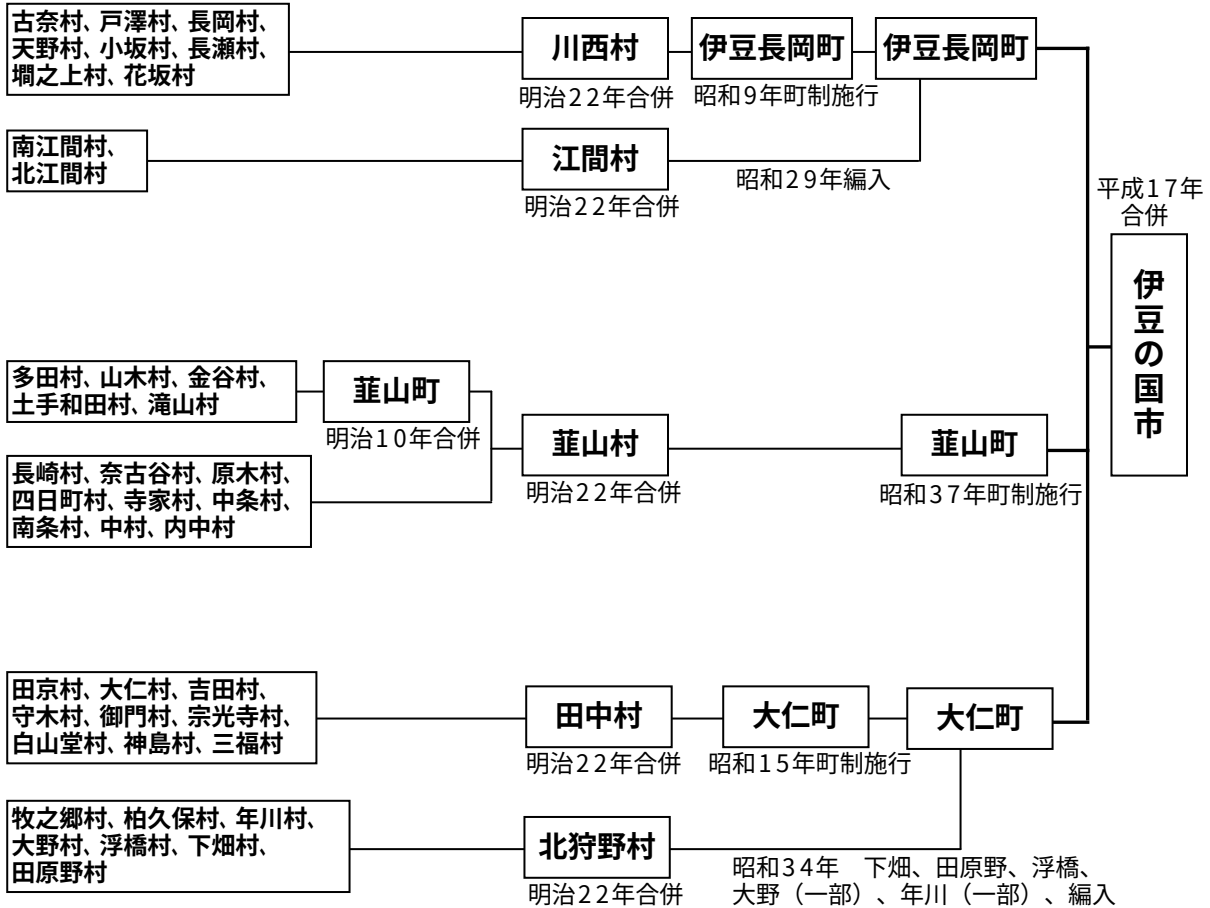
(平成17年4月1日制定)



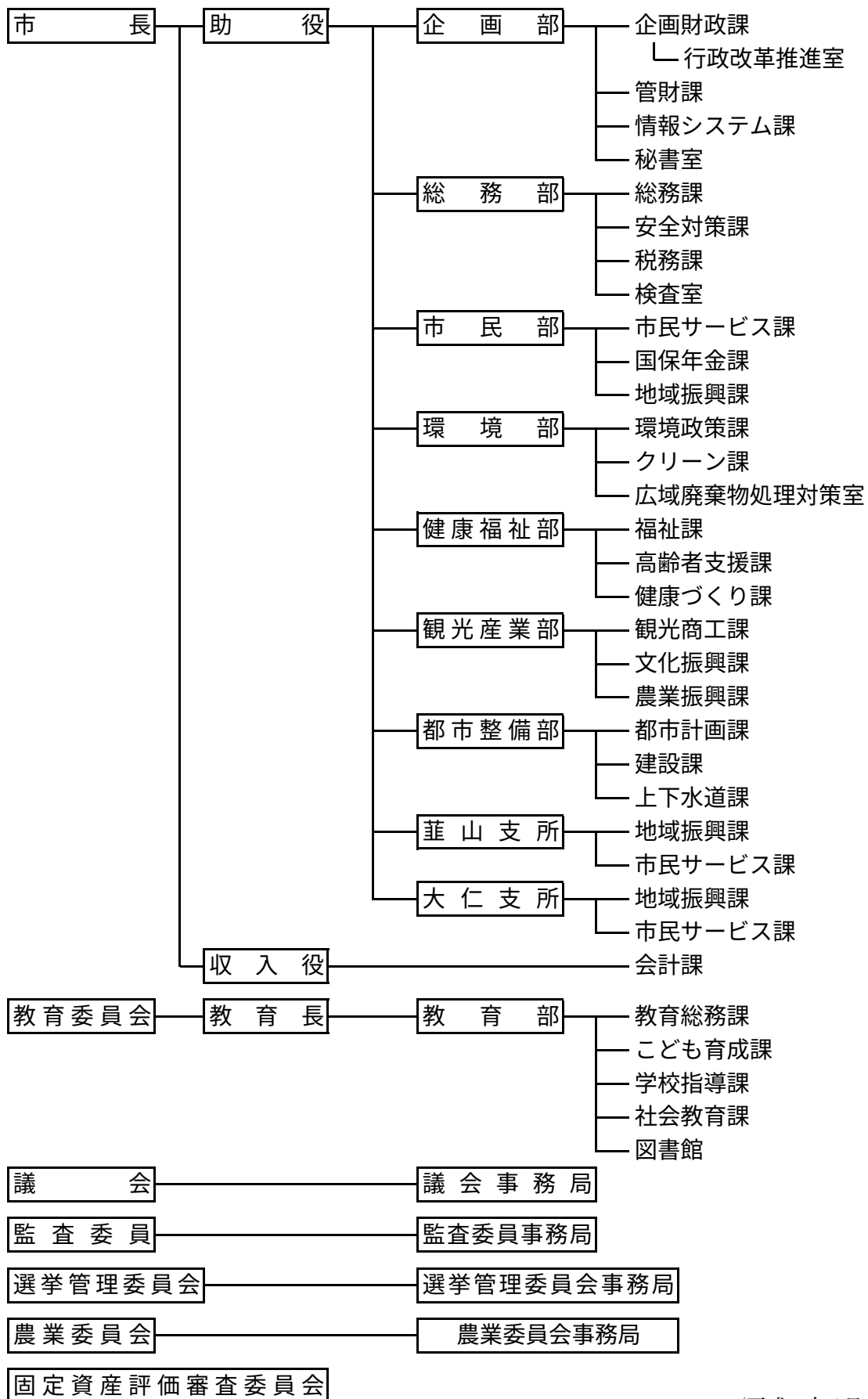
市を上空から俯瞰した景観を、歴史上縁の深い北条氏の紋所である「三つ鱗」と抽象化した伊豆半島、蛇行する狩野川をモチーフに表現しています。

伊豆の国市の沿革

この地域は、古くは「伊豆の国」と呼ばれ、「和名抄」（930～935年編）によると田方郡を含んで那賀、賀茂の3郡、21郷があったとされています。明治以降の「明治の大合併」、「昭和の大合併」、「平成の大合併」を経て、現在の「伊豆の国市」となりました。



伊豆の国市の行政機構



(平成18年4月1日現在)

伊豆の国市の生活指標

平成17年4月1日現在 「市町村の指標」より ※県内24市中の順位です。

区 分		順位	基礎数値
1 面積と人口			
(1) 県総面積に占める面積割合		17	1.2 %
(2) 県総人口に占める人口割合		17	1.3 %
(3) 可住地面積割合		15	44.5 %
(4) 人口密度		15	1,202 人
(5) 外国人登録人口割合		19	1.1 %
(6) 人口増加率		17	△ 0.5 %
(7) 昼夜間人口比		18	95.1 %
(8) 年少(0-14歳) 人口割合		17	14.6 %
(9) 生産年齢(15-64歳) 人口割合		15	66.7 %
(10) 老年(65歳以上) 人口割合		7	18.6 %
(11) 一世帯当たりの世帯人員		16	2.9 人
(12) 高齢者のいる世帯割合		11	36.2 %
(13) 出生率	(人口千人当たり)	17	8.5 人
(14) 死亡率	(")	7	8.7 人
2 行財政			
(1) 市町村職員数	(人口千人当たり)	10	7.8 人
(2) パソコンの保有台数	(職員百人当たり)	11	127.5 台
(3) 財政規模	(人口一人当たりの決算額)	8	362,111 円
(4) 標準財政規模		20	9,818,085 千円
(5) 財政力指数(3カ年平均)		21	0.755
(6) 一般財源等比率		10	76.7 %
(7) 市町村税(普通税) 徴収実績		20	85.0 %
(8) 経常収支比率		14	80.7 %
(9) 人件費の割合		18	17.0 %
(10) 投資的経費割合		13	22.3 %
(11) 地方債現在残高比率		17	175.9 %
(12) 住民一人当たりの地方債現在残高		16	341,209 円
(13) 公債費比率		17	13.8 %
(14) 起債制限比率		22	7.7 %
(15) 積立金現在高	(人口一人当たり)	8	67,157 円
3 生活環境			
(1) 都市公園等面積	(人口一人当たり)	6	9.8 m ²
(2) 汚水衛生処理率		8	55.3 %
(3) 市町村道舗装率と道路実延長	(舗装率)	14	77.6 %
(4) 持家率		17	64.9 %
(5) 公営住宅戸数	(公営住宅率)	14	1.6 %
4 教育			
(1) 小学校児童数	(教員一人当たり)	14	18.8 人
(2) 中学校生徒数	(")	6	16.9 人
(3) 高等学校等進学率		17	96.6 %
(4) 図書館蔵書冊数	(人口千人当たり)	7	3,786.7 冊
(5) 公共施設数	(人口10万人当たり)	5	41.5 ヶ所

(注) このデータは、旧伊豆長岡町分と旧菰山町分と旧大仁町分を合算し、計算した数値である。

区 分		順位	基礎数値	
5 医療と福祉				
(1) 病院施設数	(人口10万人当たり)	3	11.9	ヶ所
(2) 一般病院数	(")	3	11.9	ヶ所
(3) 一般診療所数	(")	17	61.7	ヶ所
(4) 病院病床数	(")	2	1,977.6	床
(5) 国民健康保険診療費	(加入者一人当たり)	7	277,457	円
(6) 老人医療費	(受給者一人当たり)	12	681,720	円
(7) 保健師数	(人口10万人当たり)	2	31.6	人
(8) 婚姻率	(人口千人当たり)	5	6.3	件
(9) 離婚率	(")	8	2.3	件
(10) 生活習慣病による死亡率(脳血管疾患)	(人口10万人当たり)	16	94.8	人
(11) 生活習慣病による死亡率(悪性新生物)	(")	5	278.5	人
(12) 生活習慣病による死亡率(心疾患)	(")	11	126.4	人
(13) 1歳6か月児健康診査実施状況		18	92.6	%
(14) 3歳児健康診査実施状況		6	95.3	%
(15) 保育所定員数に対する充足率		21	89.0	%
(16) 障害者支援費支給決定者率	(人口比率)	15	0.3	%
(17) 要介護認定率		11	12.8	%
(18) 一人暮らし高齢者率		6	16.9	%
6 経済と労働				
(1) 労働力人口(男性)	(人口比率)	12	79.0	%
(2) 労働力人口(女性)	(")	8	55.0	%
(3) 第一次産業就業人口	(就業者割合)	10	6.0	%
(4) 第二次産業就業人口	(")	19	31.8	%
(5) 第三次産業就業人口	(")	8	62.1	%
(6) 農家世帯数(販売農家)	(世帯比率)	9	5.8	%
(7) 第一種兼業農家数(販売農家)	(農家数割合)	15	20.5	%
(8) 第二種兼業農家数(販売農家)	(")	10	64.5	%
(9) 専業農家数(販売農家)	(")	16	15.0	%
(10) 経営耕地面積(販売農家)	(農家一戸当たり)	18	70.2	a
(11) 農業産出額	(")	14	0.25	千万円
(12) 製造事業所数	(増加率)	12	△ 6.7	%
(13) 製造品出荷額	(")	3	16.8	%
(14) 小売業商店数	(3ヵ年増加率)	1	4.9	%
(15) 卸売業商店数	(")	19	△ 11.4	%
(16) 小売業の年間販売額	(")	2	13.5	%
(17) 卸売業の年間販売額	(")	16	△ 23.2	%
(18) 第二次産業事業所数	(")	17	△ 10.0	%
(19) 第三次産業事業所数	(")	11	△ 1.6	%
(20) 観光入込客数		14	2,413	千人
7 安全				
(1) 火災出火件数	(人口10万人当たり)	17	43.5	件
(2) 交通事故発生件数	(")	11	1,021.3	件
(3) 刑法犯認知件数	(人口千人当たり)	16	13.3	件
(4) 消防団団員数	(")	6	8.5	人

年 月	出 来 事
平成 17. 4	三町合併により「伊豆の国市」が誕生、市役所開庁式
4	市長・市議会議員選挙を実施
4	伊豆の国市初代市長に望月良和氏、伊豆の国市初代議員24人が決まる
4	星和区公民館が完成
7	新市誕生記念式典
7	長岡温水プール「プールサンゆう」来場者30万人達成
10	国勢調査実施（人口50,011人）
12	道の駅「伊豆のへそ」オープン
18. 3	蛭ヶ島茶屋が完成
3	国道136号南条一宗光寺間に歩道が完成
3	伊豆の国市消防団伊豆長岡方面隊第7分団詰め所が完成
7	伊豆長岡庁舎別館誕生